

立命館大学アート・リサーチセンター  
 文部科学省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」  
 2017年度 共同研究成果報告書〔研究費配分型〕

2018年 4 月 20 日 提出

1. 研究課題名	
京都を起点とした染色技術及びデザインのグローバルな展開に関する研究 (英文標記: Research of Kyoto-based Global Development of Printing Techniques and Designs)	
2. 研究代表者	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
加茂瑞穂(かもみずほ)	京都工芸繊維大学・JSPS 特別研究員
3. 研究分担者 (合計: 名) ※アート・リサーチセンター所属者は、「ARC 所属教員欄」に○印を付してください	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
並木誠士(なみきせいし)	京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科・教授、同大美術工芸資料館・館長
青木美保子(あおきみほこ)	京都女子大学・准教授
鈴木桂子(すずきけいこ)	衣笠総合研究機構・教授
上田文(うえだあや)	関西学院大学・非常勤講師、同志社女子大学・非常勤講師
杉浦未樹(すぎうらみき)	法政大学・教授
山本真紗子(やまもとまさこ)	立命館大学先端総合学術研究科研究指導助手

4. 研究課題の概要(300字程度) (申請書から変更がある場合は、変更点分かるように明記してください)
<p>これまでの研究課題「デジタル・アーカイブ手法を用いた近代染織資料の整理と活用」と、それに関係した研究プロジェクトにより、学術資料として俎上に上がっていない近代染織史に関連する資料の整理・蓄積が進み、それによって、伝統的地場産業と位置付けられてきた京都の染織のグローバルな展開—近代以降の西洋技術・デザインの導入だけではなく、戦前から始まるアジア・アフリカへの製品輸出・海外事業展開も含む—が明らかになってきた。</p> <p>そこで、研究課題の新しい段階として、近代京都を起点として染色産業がどのように国内外へ展開されてきたのか、あるいは影響を受けてきたのかを染色技術やデザインを通じて明らかにする。具体的には、京都の近代染織、アフリカン・プリント、伊勢型紙、バティック等をデジタル・アーカイブ化することにより可視化し、デザイン・技術の世界的連環を解明する。</p>
5. 研究成果の概要 (この項は、本センターのホームページ・紀要等で公開することがあります)

## 1. 染織資料のデータベース化

大同マルタ会旧所蔵資料のデータベース(β版)を整備し、バイリンガル化も進め公開準備はほぼ終了した。

## 2. 展覧会の開催

展覧会 2 件「纏う図案—近代京都と染織図案 I」「近代京都の機械捺染図案を今ふたたび—よみがえる寺田コレクション—」を京都工芸繊維大学美術工芸資料館において開催した。

## 3. 染色デザイン的世界的連環—アフリカン・プリント、伊勢型紙を中心に

シンポジウム「Textile Pattern Designs in the Global Entanglement: Katagami, Batik, Sarasa and 'African Prints' on the Move, 1800-2000」を立命館大学 ARC において開催した。また、関連する国際シンポジウムも多数開催され、本共同研究のメンバーが各シンポジウムで発表をおこなった。

## 4. 長江家所蔵染織関連資料調査

2018 年 3 月に共立女子大学長崎研究室のメンバー等とともに合同調査をおこない、染織関連資料の基礎調査をおこなった。

## 5. 染織従業者らへの聞き取り調査と聞き取り記録のデジタル・アーカイブ

アフリカン・プリント、友禅染における悉皆業、西陣のつづれ織りに関して聞き取り調査をおこなった。

上記の活動を通じ、研究者のみならず社会にむけても研究成果発信をおこなった。

## 6. 研究業績

## (1) 著書 単著

・並木誠士『日本絵画の転換点 酒飯論絵巻「絵巻」の時代から「風俗画」の時代へ』昭和堂、全 157 頁  
共著

・並木誠士『描かれた都市と建築』(Kyoto Design Lab Library、編著、昭和堂、全 237 頁)

・岡達也、加茂瑞穂『纏う図案—近代京都と染織図案 I 展図録』全 22 頁

## (2) 論文 単著 査読有

・Zhenao Wei, Lilang Xiong, Kazuki Mori, Tung Duc Nguyen, Tomohiro Harada, Ruck Thawonmas, Keiko Suzuki, and Masaaki Kidachi, “Deep Features for Image Classification and Image Similarity Perception,” Proceedings of JADH Conference, vol. 2017: pp.60-62、

・青木美保子「京都における染色産業の技術革新-写し友禅と機械捺染に注目して-」日本繊維製品消費科学会誌『消費科学』Vol.58 No.9, pp.27-31

・青木美保子、「近代京都における捺染産業の発展 —ロール彫刻業に注目して」日本風俗史学会誌『風俗史学』65 号、pp.3-26、

・山本真紗子「美学者中井宗太郎の渡欧体験(1922~23) —京都市立芸術大学芸術資料館所蔵中井宗太郎資料を中心に—」『人文学報』(京都大学人文科学研究所) 110、pp.71-92

・加茂瑞穂「友禅協会応募図案にみる明治後期の染色意匠—第 26 回から 37 回を中心に」『アート・リサーチ』18、pp.3-13

## 共著 査読有

・Keiko Suzuki, “Kimono Culture in Twentieth-Century Global Circulation,” by Keiko Suzuki, Linking Cloth-Clothing Globally: 17th-20th Century Mapping (角田奈歩、井上直子、杉浦未樹、竹田泉 監修)、法政大学比較経済研究所

## 単著 査読無

・上田文「土田麥僊『松岳』時代の作品について(四)—玉邦落款『龍図』—」『佐渡郷土文化』第 143 号、佐渡郷土文化の会、pp.43-47

・上田文「土田麥僊『松岳』時代の作品について(五)—写生帖からみる学習と転塾—」『佐渡郷土文化』第 144 号、佐渡郷土文化の会、pp.35-43

・杉浦未樹「布と衣の世界史構築とグローバルヒストリー」羽田正編『グローバルヒストリーの可能性』、pp.139-160、山川出版社

・杉浦未樹『アフリカン・プリント物語』布と衣とファッションのグローバルヒストリー」上智大学アメリカ研究所編『グローバルヒストリーズ』、ぎょうせい出版

・前崎信也・山本真紗子「Google Arts & Culture「Made in Japan: 日本の匠」における京都女子大学と立命館大学の取り組みについて」『京都女子大学生生活造形』63、pp.75~78、

・山本真紗子「神戸「シルク・ロード」の今を訪ねて」『民族藝術』34、pp.188~189

## (3) 研究発表等 査読有

・青木美保子「近代京都のロウケツ染-鶴巻鶴一による藤瀬の復活とその後の展開-」第 58 回日本風俗史学会大会、淑徳大学東京キャンパス、研究発表要旨集 p3 2017/11/26

- ・上田文「西洋からみた土田麩一スウェーデンの画家ニルス・ダルデルの作品を通して」第 70 回美術史学会全国大会、2017/5/20、関西学院大学
- ・Mizuho Kamo, "Examination from Dyeing and Weaving Historical Sources: A Focus on Katagami and Designs," Asian Studies Conference Japan (ASCJ), Rikkyo University, Tokyo, 2017/7/9

#### 査読無

- ・青木美保子, 「京都における染色産業の技術革新」日本繊維製品消費科学会 2017 年年次大会・研究発表会企画発表 京都女子大学 研究発表要旨集 p7 2017/06/24
- ・Keiko Suzuki, and Mizuho Kamo, "Lecture on Kyo-yuzen and Viewing of the ARC Stencil Collection," 国際シンポジウム "Popularizing Fabrics and Clothing: Kyoto Yuzen Industry in Broader Context 1600-1970." 2017/06/03
- ・Keiko Suzuki, "Stencils Made in Ise and Used in Kyoto and the World," 国際シンポジウム "Global Costume: Kosode, Dofuku, Banyan, Kebaya and Japanese Rok 1500-1850. A dialogue of Global Circulation between Art History, Economy and Material Culture," 2017/07/29
- ・Keiko Suzuki, "Katagami Designs from a Global Perspective," by 国際シンポジウム『染色デザインの世界的連環: 型紙、バティック、更紗、「アフリカン・プリント」を中心に』 2017/10/21
- ・鈴木桂子, 「染色デザインの世界的連環の研究—『アフリカン・プリント』、型紙を中心に」『第 8 回横幹連合コンファレンス』 2017/12/3
- ・Aya Ueda, "Modern Japanese Machine Printing and KASURI Designs in Kyoto in 1897-1937 (国際シンポジウム "Popularizing Fabrics and Clothing: Kyoto Yuzen Industry in Broader Context 1600-1970." Ritsumeikan University, Kyoto, 2017/06/03
- ・Aya Ueda, "Daido Maruta and the Vlisco Collection: Problems of African Print Designs, 1960s-1980s," 国際シンポジウム『染色デザインの世界的連環: 型紙、バティック、更紗、「アフリカン・プリント」を中心に』, Ritsumeikan University, Art Research Center, Kyoto, 2017/10/22
- ・Mizuho Kamo, "Examination from Dyeing and Weaving Historical Sources: A Focus on Katagami and Designs," Asian Studies Conference Japan (ASCJ), Rikkyo University, Tokyo, 2017/7/9
- ・Mizuho Kamo, "Changes in Yuzen Marketing Strategies and their Reflections in Pattern Designs, 1892-1911," Popularizing Fabrics and Clothing: Kyoto Yuzen Industry in Broader Context 1600-1970, Ritsumeikan University, Kyoto, 2017/6/3
- ・Mizuho Kamo, "Design Competitions in the Meiji Period: A Case Study of the Yuzen Association," 国際シンポジウム『染色デザインの世界的連環: 型紙、バティック、更紗、「アフリカン・プリント」を中心に』 Ritsumeikan University, Kyoto, 2017/10/21
- ・加茂瑞穂「図案募集からみえること—友禅協会を例に」、シンポジウム「近代京都と染織図案」、京都工芸繊維大学、2017/10/1

#### (4) 主催したシンポジウム・研究会等

- ・岡達也・加茂瑞穂 シンポジウム「近代京都と染織図案」、京都工芸繊維大学、2017/10/1、45 名
- ・杉浦未樹・並木誠士、国際シンポジウム「循環と変容—1540-1760 年の世界と東アジアの美術・染織品」、2017/07/26.
- ・「糸・布・衣循環史研究会」(科研費補助金基盤 B 研究課題「糸・布・衣の廉価化の世界史」)、立命館大学アート・リサーチセンター 文部科学省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」研究課題「デジタル・アーカイブ手法を用いた近代染織資料の整理と活用」、政治経済学・経済史学会「糸・布・衣の循環史」フォーラム国際シンポジウム "Popularizing Fabrics and Clothing: Kyoto Yuzen Industry in broader context 1600-1970" 2017/06/03、17 名
- ・立命館大学アート・リサーチセンター文部科学省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」研究課題「京都を起点とした染色技術及びデザインのグローバルな展開に関する研究」、 「糸・布・衣循環史研究会」(科研費補助金基盤 B 研究課題「糸・布・衣の廉価化の世界史」) 国際シンポジウム "Textile Pattern Designs in the Global Entanglement: Katagami, Batik, Sarasa and 'African Prints' on the Move, 1800-2000" 2017/10/21-22、42 名

#### (5) その他研究活動(報道発表や講演会等)

##### ウェブ展示

- ・山本真紗子「丹後ちりめん」「京扇子」「京団扇」「紀州箆笥」「紀州束子」「伏見人形」Google Arts & Culture (2017/03/24 公開)

##### 講演

- ・青木美保子「大正・昭和の大阪和装ファッション」 展覧会「大阪の粋 大正浪漫と昭和モダンの暮らし方」セミナー、鴻池新田会所(東大阪市) 2017/11 /23
- ・山本真紗子「ディスプレイのなかの「空想美術館」—美術・工芸とデジタル・アーカイブ—」立命館大阪梅田キ

キャンパス講座・「シリーズ 美術のたぐらみーイメージの越境と接触ー」、2018/3/14

**(7) 科学研究費助成事業**

・研究課題名、研究種目、開始年月ー終了年月、役割(代表・分担)

「近代京都の美術・工芸に関する総合的研究-制作・流通・鑑賞の視点から-」基盤 B、2015 年 4 月-2019 年 3 月、代表者:並木誠士、分担者:青木美保子、上田文、山本真紗子、加茂瑞穂

**(9) その他**

**展覧会企画・実施**

・岡達也・加茂瑞穂 展覧会「纏う図案ー近代京都と染織図案 I」、京都工芸繊維大学美術工芸資料館 2017/9/25~2017/11/2

・上田文・青木美保子 展覧会「近代京都の機械捺染図案を今ふたたび-よみがえる寺田コレクション-」、京都工芸繊維大学美術工芸資料館 2018/01/09-2018/02/16

**パネル発表**

・青木美保子 2017 年度大学・地域連携サミット ポスター発表 「学まち連携大学促進事業 京都の伝統染織産業と学生のデザインプロジェクト」キャンパスプラザ京都、2017/11 /12